

## ◆ 最優秀賞



熊本県立熊本農業高等学校畜産科  
「食品廃棄物を利用した飼料製造に関する研究」

## ◆ 優秀賞



沖縄県立南部農林高等学校バイオテクノロジー部  
「甘藷「ちゅらまる(ぐしちゃんいい菜)」のバイオ苗  
作出と普及に関する研究」

## ◆ 優秀賞



鹿児島県立国分高等学校 サイエンス部2年（生物班）

「出水市に侵入したリュウキュウアブラゼミはどこからきたのか」

# ☆ KMバイオロジクス(株) 特別賞



真和高等学校生物部コサギ班

「熊本市江津湖におけるコサギの生態  
～個体ごとの採食戦略および就離峙行動について～」

# ☆ マルキン食品(株)特別賞



福岡県立城南高等学校生物部

「コケの抗菌活性」

# ☆崇城大学特別賞



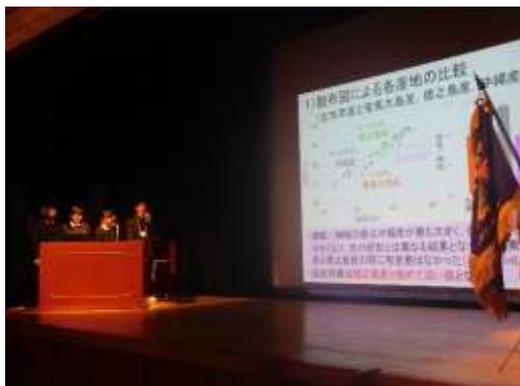
沖縄県立中部農林高等学校食品科学科

「伝える！うるまの資源 ビーグの香りをとどけ隊」

# ◆ 入賞校 (発表順)

- ▶ 大分県立日田高等学校 科学部生物班  
「絶滅危惧種ミツガシワの知られざる生態に迫れ！～これまでとこれからのHow to Survive～」
- ▶ 宮崎県立宮崎北高等学校 科学部  
「チャコウラナメクジの重力走性と光走性の関係」
- ▶ 熊本県立宇土高等学校 生態研究班  
「クスノキのSOS－植物間のケミカル・コミュニケーションと動植物の間接効果を解明－」
- ▶ 広島県立西条農業高等学校 食品科学科食品分析班  
「柑橘類の果皮に含まれる有効成分の含有量に関する研究」
- ▶ 広島県立祇園北高等学校 科学研究部生物班  
「シダ植物の雑種に関する基礎研究2019－日本産イノデ属植物を用いた研究－」





## 研究発表



## 情報交換会



## バイオ甲子園2019大会総評

審査員を代表して一言ご挨拶申し上げます。今日は一日発表お疲れ様でした。

見事入賞された高校の皆さんおめでとうございます。

審査員皆で話し合いましたが、どの高校の発表も素晴らしく優劣を付けることが大変難しい結果でありました。

本日受賞できなかった高校の皆さんも肩を落とさず、しっかり研究を楽しんで続けていってほしいと思っています。

研究は一人でやることはなかなか難しい。周りの人の協力があったり、指導していただける先生、それから環境も必要ですので、どうぞ感謝しながら今後も取り組んでいって欲しいと思っています。

研究は地道な作業ですので、うまくいかないこともたくさんあったと思いますし、いろいろな人の協力の上でうまくいったところもあったと思いますが、予備審査を通過してこういう機会を発表することが出来たという皆さん。資料作成、発表の作法、スライド作成など大変なこともたくさんあったと思いますが、多くの人前で発表するという貴重な機会を得ることが出来たということは、おそらく今後皆さんの人生において自信になるものと信じています。

今後もそういう観点から、大変なこと、楽しいことを研究を通して学んでいって欲しいということが審査員皆の意見であります。

優秀賞を受賞した南部農林高等学校の皆さんの発表につきましては、バイオ苗の作出に成したということ、それから沖縄県の特産品の普及拡大に貢献出来たということ、それからこれを全国に拡大していって欲しいという期待が持てるということが評価されました。

同じく優秀賞を受賞された国分高校サイエンス部の発表につきましては、たくさんの資料、多くの解析を行ったこと、DNAの解析を含めていろいろな島での採集、サンプルの計測、たくさんの作業解析を行ったことなど、今後研究の発展に期待出来ることが評価されました。

最優秀賞の熊本農業高等学校の発表に関しましては、食品廃棄物の削減、（非常に問題になっていると審査員の先生方からもコメントもありましたが）その削減に成功したということ、飼料の経費の削減に大きく貢献することが出来たということが評価されました。

3年生の皆さんは、後輩の皆さんに研究のすばらしさや発表の楽しさなどを伝えていただければと思います。また、1年生2年生の皆さんは今の研究内容を発展させる、あるいは新しい研究に取り組まれることもあるかもしれませんが、来年またこういう機会に皆さんにまたお会いできることを楽しみにしています。今日はどうもお疲れ様でした。

バイオ甲子園2019審査委員長